

平成20年度京都市立総合支援学校高等部入学者募集要項を次のとおり定めます。

平成19年9月14日

京都市教育委員会

### 平成20年度京都市立総合支援学校高等部入学者募集要項

平成20年度京都市立総合支援学校高等部（以下「総合支援学校高等部」という。）の入学者の募集は、総合支援学校高等部に入学を志願する者（以下「志願者」という。）に対し、この要項の定めるところにより行うものとする。

#### 1 志願者の資格

志願者の資格は、次の(1)、(2)又は(3)のいずれかであって、(4)、(5)又は(6)に該当する者であることとする。

- (1) 平成20年3月に中学校若しくは特別支援学校中学部又は中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を卒業又は修了（以下「卒業」という。）する見込みの者
- (2) 中学校を卒業した者
- (3) 総合支援学校高等部への入学に関し、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号に該当する者
  - ア 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者（平成20年3月に修了する見込みの者を含む。）
  - イ 文部科学大臣が中学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者（平成20年3月に修了する見込みの者を含む。）
  - ウ 文部科学大臣の指定した者
  - エ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第23条（同法第39条第3項で準用する場合を含む。）の規定により保護者が就学させる義務を猶予又は免除された子女で、就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）に定めるところにより、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
  - オ その他特別支援学校長が、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (4) 北総合支援学校、東総合支援学校、西総合支援学校及び呉竹総合支援学校にあっては、発達に遅れのある者又は肢体の不自由な者で、保護者の居住地が別表の通学区域内にあるもの
- (5) 鳴滝総合支援学校（普通科）にあっては、筋ジストロフィー症又はその類似疾患等の者で、独立行政法人国立病院機構宇多野病院に入院中の者又は平成20年3月末までに入院見込みのもの
- (6) 白河総合支援学校及び鳴滝総合支援学校（生活産業科）にあっては、発達に遅れのある者又は肢体の不自由な者で、保護者の居住地が京都市の区域内にあるもの

## 2 総合支援学校高等部の入学者の募集

(1) 総合支援学校高等部第1学年生徒募集定員は、次の表のとおりとする。

学 校 名	設置学科	募集定員
北総合支援学校	普通科	30名
白河総合支援学校	産業総合科	32名
東総合支援学校	普通科	30名
鳴滝総合支援学校	普通科	10名
	生活産業科	16名
西総合支援学校	普通科	30名
呉竹総合支援学校	普通科	30名

(2) 入学者の募集は、この要項により総合支援学校長が行う。

## 3 出願の手続

(1) 願書受付期間（※郵送による出願は受け付けない。）

ア 白河総合支援学校及び鳴滝総合支援学校（生活産業科）

平成20年1月4日（金）及び同月7日（月）の午前10時から午後4時まで

イ 北総合支援学校，東総合支援学校，鳴滝総合支援学校（普通科），西総合支援学校及び呉竹総合支援学校

平成20年1月21日（月）から同月24日（木）までの午前10時から午後4時まで

(2) 提出書類

書 類 名	提出部数	作 成 者
入学願書 (様式1A)	1通	志 願 者
高等部入学相談願 (様式1B)	1通	志 願 者
報告書 (様式2A) (様式2B) (様式2C)	1通	中学校長又は特別支援学校長
北総合支援学校，東総合支援学校，鳴滝総合支援学校（普通科），西総合支援学校，呉竹総合支援学校に志願する者 調 査 書 (様式3-1)	1通	保 護 者
白河総合支援学校，鳴滝総合支援学校（生活産業科）に志願する者 調 査 書 (様式3-2)		
推薦書 (様式4)	1通	中学校長又は特別支援学校長

注1 報告書は、志願者の教育課程に応じて、様式2A・様式2B・様式2Cいずれかの様式を使用すること。

注2 推薦書は、白河総合支援学校又は鳴滝総合支援学校（生活産業科）に出願する場合にのみ提出すること。

(3) 志願者の手続

志願者（保護者を含む。以下同じ。）は、入学願書、入学相談願及び調査書に所要事項を記入し、必要箇所に保護者が署名又は記名押印のうえ、在学又は出身校（以下「在 schools 等」という。）の校長を経由して、志願する総合支援学校長に提出する。

(4) 在 schools 等の校長の手続


在 schools 等の校長は、志願者が作成した出願書類の記載事項に誤りのないことを確かめたうえ、所要事項の記入を行い、その他必要書類を作成し、志願する総合支援学校長に提出すること。

(5) 総合支援学校長の処理

総合支援学校長は、提出された書類を審査のうえ受け付け、入学相談票に所要事項を記入し、契印し、切り離して志願者に交付するものとする。

4 提出書類の記入要領

(1) 提出書類記入上の注意

- ア 各提出書類の記載は、横書きとし、数字は算用数字を使用すること。
- イ 各欄については、次の要領によって記入し、空欄を作らないこと。
  - (ア) 該当する事項がある場合は、必ず記入すること。
  - (イ) 該当する事項がない場合は、「なし」と記入すること。
  - (ウ) 記載の事項のいずれかを選ぶ場合は、該当事項を○で囲むこと。
  - (エ) ※欄は、在 schools 等では記入しないこと。
  - (オ) ※欄以外で記入の必要のない欄は、斜線（）で抹消すること。

(2) 報告書について

- ア 指導要録に基づき、障害や発達の状態の判定に役立つように作成すること。報告書の様式は、次の表に掲げるところによる。

志願者の教育課程	報告書の様式
中学校に準じた教育課程	様式 2 A
特別支援学校（発達遅滞）の教育課程	様式 2 B
主として領域・教科を合わせた指導を行う教育課程 主として自立活動の指導を行う教育課程	様式 2 C

- イ 「学歴」欄の1段目には中学校への入学日を記入すること。育成学級在籍者については、（ ）内に「発達育成」、「情緒育成」等を記入すること。また、中学校在学中に育成学級に入級した場合は、入級日を記入し、入級を○で囲むこと。

2段目には、中学校名を明記し、卒業見込み又は卒業について該当するものを○で囲むこと。

- ウ 様式 2 Aを使用する場合の「学習の記録」、「行動の記録」及び「特別活動等の記録」の欄は、指導要録の内容に基づき、次の要領によって記入すること。

(ア) 「学習の記録」欄について

- a 「観点別学習状況」は、第3学年の各必修教科について、文部科学省初等中等教育局長通知（平成13年4月27日付け13文科初第193号）に基づき、各中学校の指導要録に記載された観点ごとに、A・B・Cの記号を記入すること。

なお、平成14年3月以前の過年度卒業者については、「観点別学習状況」全体に斜線を引き、最終学年の指導要録の観点別学習状況の記載に準じて作成したものを添付すること。ただし、平成13年3月以前の過年度卒業者については、添付を要しない。

- b 「必修教科」の評定は、第1学年、第2学年及び第3学年についてすべて5段階評価によって5・4・3・2・1（5を上位とする。）の評定点を使用することとし、その表示は指導要録の記載に準じること。

なお、過年度卒業者については、必修教科（選択教科としての「外国語」を含む。）の評定を記入すること。ただし、平成13年3月以前の過年度卒業者については、記入を要しない。

- c 「選択教科」は、当該生徒が履修した選択教科について、履修した学年、教科名を記入し、3段階の評定A・B・Cのうち該当するものに○印を付けること。

なお、過年度卒業者については、共通履修としての「外国語」を除いて記入すること。ただし、平成13年3月以前の過年度卒業者については、記入を要しない。

- d 「総合的な学習の時間」は、学習活動及び指導の目標や内容に基づいて各中学校が定めた評価の観点を踏まえ、生徒の学習状況における顕著な事項に関して記入すること。ただし、平成16年3月の過年度卒業者の第1学年、平成15年3月の過年度卒業者の第1学年及び第2学年並びに平成14年3月以前の過年度卒業者については、記入を要しない。

(イ) 「行動の記録」欄について

第1学年、第2学年及び第3学年について、掲げられた各項目の趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合に○印を記入すること。ただし、「項目」について各中学校で付加している項目があれば空欄に記入すること。

なお、過年度卒業者については、指導要録の「行動の記録」欄に基づいて「項目」を適宜書き換え、発達、習熟の著しいものについて○印を記入すること。ただし、平成13年3月以前の過年度卒業者については、記入を要しない。

(ウ) 「特別活動等の記録」欄について

次の要領によって記入すること。ただし、平成13年3月以前の過年度卒業者については、記入を要しない。

a 「Ⅰ 特別活動の状況」は、第1学年、第2学年及び第3学年について、内容ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合は、○印を記入すること。

b 「Ⅱ 特記事項」は、3年間の特別活動における活動状況、部活動の状況、生徒の特技等、学校内外における奉仕活動及び表彰を受けた行為や活動等について、顕著なものを記入すること。

エ 様式2B又は様式2Cを使用する場合の「学習の記録」及び「行動の記録」の欄は、指導要録の内容に基づき、第3学年の成績を次の要領によって記入すること。

(ア) 「学習の記録」欄について

各教科、特別活動、自立活動について、指導要領に定められた各教科等の目標、内容に照らし、到達の程度、指導内容の習得の状況等を記入すること。領域・教科を合わせた指導がある場合は、その状況を記入すること。

なお、自立活動については、指導した事項及びその結果等について記入すること。ただし、平成13年3月以前の過年度卒業者については、記入を要しない。

(イ) 「行動の記録」欄について

各教科、道徳、特別活動、自立活動その他学校生活全体にわたって認められる生徒の行動についての特徴を記入すること。ただし、平成13年3月以前の過年度卒業者については、記入を要しない。

オ 「出欠の記録」欄の「備考」は、年間20日以上欠席のある者について、その主な理由を学年ごとに記入すること。ただし、平成13年3月以前の過年度卒業者については、記入を要しない。

カ 「障害の状態に関する所見」欄は、生徒の障害の状態について詳しく記入すること。

キ 「特記事項及び通学に関する所見」欄は、生徒の全体的特徴をはじめ、指導上留意してきた事項及び卒業後に指導してきたこと、本人の住所から志望校に通学する場合の交通機関、介助の有無、通学に関する担任としての見通し等を詳しく記入すること。

(3) 調査書について

「保護者の意見」欄には、指導上の参考となる内容をできるだけ詳しく記入すること。

## 5 入学相談

(1) 入学相談は、京都市教育委員会教育長からの諮問に基づき、京都市立総合支援学校高等部入学指導委員会が実施するものとする。

(2) 実施期日及び実施場所

学 校 名	実 施 場 所	実 施 期 日
白河総合支援学校	白河総合支援学校	平成20年1月13日(日)
鳴滝総合支援学校(生活産業科)	鳴滝総合支援学校	
鳴滝総合支援学校(普通科)	鳴滝総合支援学校	平成20年2月3日(日)
北総合支援学校	北総合支援学校	
東総合支援学校	東総合支援学校	
西総合支援学校	西総合支援学校	
呉竹総合支援学校	呉竹総合支援学校	

(3) やむを得ない理由による欠席者の措置

入学相談当日やむを得ない理由によって欠席した者で、入学相談受付時刻終了までに相談実施校の総合支援学校長に連絡したものは、追相談を受けることができる。

(4) 入学相談に関する特別措置

出願を予定する者のうち入学相談実施上配慮を必要とすると考えられる場合は、総合支援学校長にあらかじめ申し出ること。

## 6 入学者の決定

総合支援学校長は、在学等校の校長から送付された報告書と京都市立総合支援学校高等部入学指導委員会からの答申を資料として、入学者を決定するものとする。

## 7 入学決定通知

入学決定の通知は、在学等校の校長を経由して平成20年3月1日(土)以降に保護者あてに発送する。

8 住所の届出を要する場合等の手続について

転居の予定のある者及び生活の本拠が住民票に記載された住所と異なる者については、次の表の上欄に掲げる区分に応じ、願書を提出すること。

区 分	(1) 転居により住所の届出を要する場合		(2) 生活の本拠が住民票に記載された住所と異なる場合
	①京都市の区域内における転居	②京都市の区域外から京都市の区域内への転居	
入学願書に添付する書類	住所に関する届（様式5）		
願 書 提 出 先	願書提出時の住所が属する通学区域の総合支援学校長	入学時の住所が属する通学区域の総合支援学校長	日常生活する場所が属する通学区域の総合支援学校長
その他留意事項	転居を完了した場合は、住民票記載事項証明書を、入学願書を出願した総合支援学校長に提出すること。		

別表

京都市立北総合支援学校，東総合支援学校，西総合支援学校及び  
 呉竹総合支援学校の通学区域

次の表の右欄に掲げる中学校の通学区域をもってその範囲とする。

学校名	通 学 区 域
北 総 合 支 援 学 校	加茂川中学校，西賀茂中学校，旭丘中学校，衣笠中学校，雲ヶ畑中学校，烏丸中学校，上京中学校，嘉楽中学校，二条中学校，北野中学校，朱雀中学校，京都御池中学校，中京中学校，松原中学校，西ノ京中学校，高野中学校，下鴨中学校，修学院中学校，洛北中学校，大原中学校，花背中学校
東 総 合 支 援 学 校	下京中学校，七条中学校，岡崎中学校，近衛中学校，洛東中学校，弥栄中学校，月輪中学校，山科中学校，勸修中学校，大宅中学校，安祥寺中学校，音羽中学校，花山中学校，醍醐中学校，春日丘中学校，小栗栖中学校，栗陵中学校
西 総 合 支 援 学 校	久世中学校，蜂ヶ岡中学校，太秦中学校，嵯峨中学校，四条中学校，西京極中学校，梅津中学校，西院中学校，高雄中学校，宕陰中学校，双ヶ丘中学校，周山中学校，桂中学校，松尾中学校，桂川中学校，檉原中学校，大枝中学校，洛西中学校，西陵中学校，大原野中学校
呉 竹 総 合 支 援 学 校	八条中学校，九条中学校，洛南中学校，陶化中学校，深草中学校，藤森中学校，桃山中学校，伏見中学校，神川中学校，桃陵中学校，向島中学校，向島東中学校，洛水中学校，大淀中学校



※ 受付番号 受 付	
※ 学校名	

# 入 学 願 書

年 月 日

(あて先) 京都市立 総合支援学校長

在学(出身) 中学校名  
 (〒      -      )

志願者住所

志願者氏名  
 \_\_\_\_\_ 年 月 日生 性別 (      )

上記の者は、京都市立 総合支援学校高等部 科第 1 学年に入学を志願しますので、  
 出願します。

(〒      -      )

保護者住所

保護者氏名 \_\_\_\_\_ ⑩  
 電話 \_\_\_\_\_

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。  
 その他の場合については、保護者印を押印してください。

様式 1 B

受付 ※番号	
受付 ※学校名	

高等部入学相談願

年 月 日

契  
印

(あて先) 京都市教育委員会教育長

在学(出身)  
中学校名

住 所

ふりがな  
氏 名

年 月 日生  
性別 ( )

私は、この度、京都市立総合支援学校  
高等部入学者決定のための入学相談を受  
けたいので、お願いします。

平成20年度 高等部入学相談票	
※受付番号	第 号
氏 名	年 月 日生
在学(出身)中学校名	
※受付学校名	
※入学相談 日時・場所	月 日 ( ) : ~ : [受付] : ~ :
1 本票は、入学願いに關する一切の手續受 領書を兼ねます。 2 入学相談当日携行して、その後も入学決 定通知があるまで保存しておいてください。	

入学相談に關する注意事項

- ア 必ず保護者同伴でお出でください。
- イ 入学相談票、筆記用具、上履き用運動靴  
を忘れないでください。
- ウ 当日、急病等で欠席する場合は、受付時  
刻終了までに必ず相談実施校の総合支援学  
校長まで連絡してください。もし連絡せず  
に欠席された場合には、受験資格を失うこ  
とになります。

# 報 告 書

受付番号 ※

学 歴	年 月 日 中学校(部) ( ) 入学・入級										注 1段目は、入学した中学校(部)名を明記し、育成学級の場合は( )内にその旨記入してください。中学校在学中に育成学級に入級した場合は、入級日を記入してください。 2段目は、中学校(部)名を明記し、卒業見込み又は卒業について該当するものを0で囲んでください。			ふりがな	性 別			
	年 月 日 中学校(部) 卒業見込み・卒業										氏名	生年月日	年 月 日生					
学 習 の 記 録	必修教科										選 択 教 科			特別活動等の記録				
	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・家庭 外国語( )										学年	教科名	評定	I 特別活動の状況	学級活動	生徒会活動	学校行事	
	第1年	評定											A・B・C					
	第2年	評定											A・B・C					
	第3学年	観点別学習状況	I											A・B・C				
			II											A・B・C				
			III											A・B・C				
			IV											A・B・C				
			V											A・B・C				
		評定											A・B・C					
総合的な学習の時間の記録												A・B・C	自立活動の記録					
												A・B・C						
行 動 の 記 録	項 目	基本的な生活習慣	・健康 ・体力の向上	自主・自立	責 任 感	創 意 工 夫	思 い や り ・ 協 力	生 命 尊 重 ・ 自 然 愛 護	勤 労 ・ 奉 仕	公 正 ・ 公 平	公 共 心 ・ 公 聴 心	出 欠 の 記 録						
												学年	授業日数	欠席日数	備 考			
												1						
												2						
												3						
										(注) 平成19年12月31日現在で記入すること。また年間20日以上欠席の場合は、備考にその主な理由を記入すること。								
障害の状態に関する所見					特記事項及び通学に関する所見							校 長 証 明	この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。 平成 年 月 日					
													学校名					
												校長氏名	印					
												記録担当者氏名						

# 報 告 書

受付番号	※
------	---

学 歴	年 月 日	中学校(部) ( ) 入学・入級	注 1段目は、入学した中学校(部)名を明記し、育成学級の場合は( )内にその旨記入してください。中学校在学中に育成学級に入級した場合は、入級日を記入してください。 2段目は、中学校(部)名を明記し、卒業見込み又は卒業について該当するものを〇で囲んでください。	ふりがな		性 別	
	年 月 日	卒業見込み 中学校(部) 卒業		氏名	年 月 日生		
学 習 の 記 録	国語		保健体育				
	社会		職業 ・ 家庭				
	数学		外国語				
	理科		その他				
	音楽		特別活動				
	美術		自立活動				
総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 記 録			障害の状態に関する所見		出欠の記録		
			学年	授業日数	欠席日数	備 考	
			1				
			2				
3							
行 動 の 記 録			特記事項及び通学に関する所見		(注) 平成19年12月31日現在で記入すること。また年間20日以上欠席の場合は、備考にその主な理由を記入すること。		
			校 長 証 明	この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。 平成 年 月 日			
				学校名			
校長氏名							
記録担当者氏名							

# 報 告 書

受付番号 ※

学 歴	年 月 日	中学校(部) ( ) 入学・入級	注 1段目は、入学した中学校(部)名を明記し、育成学級の場合は( )内にその旨記入してください。中学校在学中に育成学級に入級した場合は、入級日を記入してください。 2段目は、中学校(部)名を明記し、卒業見込み又は卒業について該当するものを0で記入してください。	ふりがな		性  別					
	年 月 日	卒業見込み 中学校(部) 卒業		氏名							
学 習 の 記 録	指導の形態	教科等	学 習 の 記 録		指導の形態	教科等	学 習 の 記 録				
					特 別 活 動						
					自 立 活 動						
総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 記 録			障害の状態に関する所見			出 欠 の 記 録					
						学年	授業日数	欠席日数	備 考		
						1					
						2					
3											
行 動 の 記 録			特記事項及び通学に関する所見			(注) 平成19年12月31日現在で記入すること。また年間20日以上欠席の場合は、備考にその主な理由を記入すること。					
						校 長 証 明	この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。				
							平成 年 月 日				
							学校名			印	
校長氏名											
			記録担当者氏名								

受付番号

※

# 調 査 書

生徒氏名			
生年月日・性別		年 月 日生 ・ 性別 ( )	
障害の状態	障害の状況		
	現在までの主な病気	・心 臓 ( ) ・消化器 ( ) ・その他 ( )	・呼吸器 ( ) ・てんかん ( )
	言語の状態		
	手 帳	身障：無・有 ( 種 級)    療育：無・有 ( A / B )	
生活の状態			
通学の状態			
保護者の意見	教育についての考えや学校に対する希望  高等部卒業後の進路  その他		

受付番号	※
------	---

調 査 書				
生徒氏名				
生年月日・性別		年 月 日生 ・ 性別 ( )		
障害の状態	障害の状況			
	現在までの主な病気	・心臓 ( )	・呼吸器 ( )	
		・消化器 ( )	・てんかん ( )	
		・その他 ( )		
	言語の状態			
	手帳	身障：無・有 ( 種 級) 療育：無・有 ( A / B )		
生活の状態	移動手段	歩行の様子：普通・やや困難 ( ) 補助具等の使用 ( )		
	日常生活	座位 (可・不可・ ) 寝返り (可・不可・ )		
		上肢機能 (普通・やや困難・困難・ )		
	身辺自立	食 事 (自立・一部介助・全面介助・ )		
		排 泄 (自立・一部介助・全面介助・ )		
		衣 服 (自立・一部介助・全面介助・ )		
		その他 (自立・一部介助・全面介助・ )		
通学の状態	交通機関の利用	一人で (できる・訓練すればできる・できない)		
	無断外出	一人で遠くへ (行くことがある・ない)		
	一人での外出	一人で外出することが (できる・近くならできる・できない)		
	交通信号	交通信号に応じて正しく行動 (できる・できない)		
	中学校(部)への通学方法	通 学 手 段		通 学 方 法
		中 学 校	徒歩・路線バス・電車	付添い通学・一人で通学
	中学部 (病弱を除く。)	スクールバス通学	バス停まで (付添い・一人)	
保護者の意見	教育についての考えや学校に対する希望			
	高等部卒業後の進路			
	その他			

様式 4

推

平成20年度

※受付番号

推 薦 書

年 月 日

(あて先) 京都市立 総合支援学校長

学 校 名

校 長 氏 名



下記の者は、以下の推薦理由により、貴校高等部 科への入学を適当と認め、  
推薦します。

記

平成20年3月 日卒業見込み

ふりがな  
氏 名

年 月 日生 男・女

推 薦 理 由	
志望の動機・理由 興 味 ・ 関 心 学 習 意 欲	
特 別 活 動 そ の 他 の 記 録	



年 月 日

(あて先) 京都市立 総合支援学校長

## 住所に関する届

在学(出身) 中学校名 \_\_\_\_\_

志願者住所 \_\_\_\_\_

志願者氏名 \_\_\_\_\_

保護者住所 \_\_\_\_\_

保護者氏名 \_\_\_\_\_ ㊟

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。  
その他の場合については、保護者印を押印してください。

上記の者は、入学を志願するに当たり、住所を下記のとおりとしますので、届け出ます。

### 記

届出の理由	(1) <input type="checkbox"/> ①京都市の区域内における転居 <input type="checkbox"/> ②京都市の区域外から京都市の区域内への転入	
	(2) <input type="checkbox"/> 生活の本拠が住民基本台帳に記載された住所と異なる (説明)	
(1) ①京都市の区域内 における転居 及び ②京都市の区域外 から京都市の区 域内への転入の 場合に記入	転居予定の住所	(〒 - )
	転居予定の期日	
(2) 生活の本拠が住 民基本台帳に記 載された住所と 異なる場合に記 入	住民票基本台帳 に記載された住 所	(〒 - )
	日常生活の場所	

上記のとおり相違ないことを確認する。

平成 年 月 日

学校名

校長氏名

